

### Ⅲ 一～五類全数把握感染症

## 一～五類全数把握感染症

### 1. 一類感染症

全国、大阪府とも発生はなかった。

### 2. 二類感染症

結核以外の二類感染症は、全国、大阪府とも発生はなかった。

なお、結核については、下記ホームページを参照されたい。

(財)結核予防会結核研究所 疫学情報センター <http://www.jata.or.jp/rit/ekigaku/>

(文責：森定)

### 3. 三類感染症

#### ●コレラ

平成26年のコレラの発生はなく、平成25年も同様であった。

#### ●細菌性赤痢

平成26年の細菌性赤痢の届出数は9例であり、平成25年の12例に比べ減少した。

菌種別では *Shigella flexneri* (B群) が5例、*S.boydii*(C群) が1例、*S.sonnei* (D群) が3例であった。推定感染地域は、インドが4例、インドネシアが2例、タイが2例、フィリピンが1例であった。

#### ●腸チフス

平成26年の腸チフスの届出数は4例であり、平成25年の2例より、2例増加した。推定感染地域はインド(2例)、ネパール(1例)、ミャンマー(1例)であった。

#### ●パラチフス

平成26年のパラチフスの届出数は1例であり、平成25年の4例より、3例減少している。推定感染地域はベトナムであった。

コレラ

府・市	1月					2月				3月				4月				5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週
大阪府																									
大阪市																									
堺市																									
高槻市																									
東大阪市																									
合計																									

細菌性赤痢

府・市	1月					2月				3月				4月				5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週
大阪府														1											
大阪市		1		1																					
堺市																									
高槻市																									
東大阪市																									
豊中市												1													
合計		1		1								1	1												

腸チフス

府・市	1月					2月				3月				4月				5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週
大阪府				1																					
大阪市			1																		1			1	
堺市																									
高槻市																									
東大阪市																									
合計			1	1																	1			1	

パラチフス

府・市	1月					2月				3月				4月				5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週
大阪府																									
大阪市				1																					
堺市																									
高槻市																									
東大阪市																									
合計				1																					

腸管出血性大腸菌感染症

府・市	1月					2月				3月				4月				5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週
大阪府			1		1											2			4	1		1	2	1	
大阪市			1	1	1	1	1													1	1	2	2	4	
堺市																			1	1					
高槻市	1														1							1			1
東大阪市																			1						
豊中市																									1
合計	1		2	1	2	1	1								3			6	3	1	4	4	7		



●腸管出血性大腸菌感染症

平成26年の腸管出血性大腸菌感染症の届出数は202例であり、平成25年の届出数148例に比べて増加している。

血清型別ではO157が107例(53.0%)、O26が66例(32.6%)、O111が3例(1.5%)、O121が3例(1.5%)、その他が5例(2.5%)、不明が18例(8.9%)であった。そのうちHUS発症例は3例(1.5%)であった。

また、症状別では有症状者が150例(74.3%)、無症状病原体保有者(以下、無症状者)が52例(25.7%)であった。

血清型別有症・無症状者数はO157では有症状者が85例(42.1%)、無症状者が22例(10.9%)、O26では有症状者が43例(21.3%)、無症状者が23例(11.4%)、O121は有症状者が

